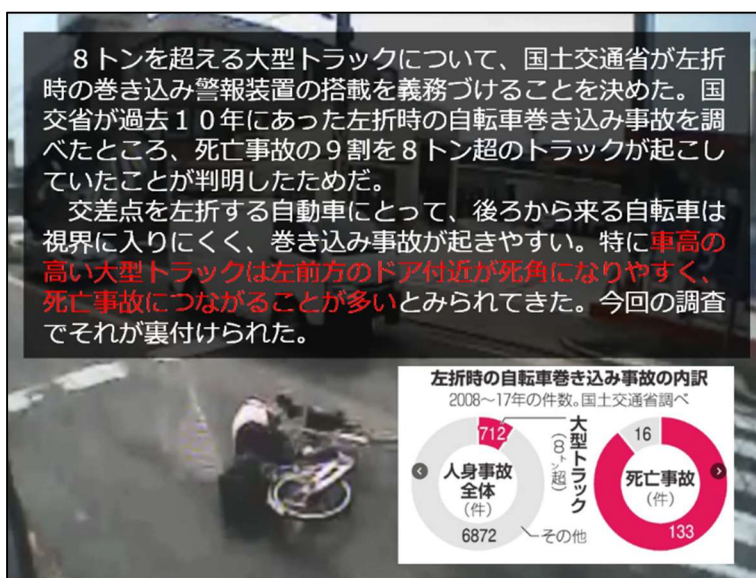


業 種	トラック
取組分野	事故、ヒヤリ・ハット情報等の収集・活用
テ ー マ	ドライブレコーダーの映像を活用した事故防止活動
取組の狙い	ドライブレコーダーの映像を活用して、事故を視覚的に体験する事により、事故の発生メカニズム、道路交通法及び事故回避の方法を学ぶ事で、社内の事故根絶を目指す
具体的内容	<p>1. 背景</p> <p>事故防止関係団体が実施する事故防止研修を受講したことを機に、社内の事故防止活動でドライブレコーダーの映像を活用する事で、より積極的に事故防止活動を推進することとした。</p> <p>2. 取組内容</p> <p>① これまでは、社内安全会議は静止写真を活用した KYT (危険予知トレーニング)・ヒヤリ・ハット収集を実施していたが、2019年にまず管理者5名が事故防止団体の社内事故防止に関するトレーナー養成講座を1年かけて受講し、「見落とし」から始まる事故の発生メカニズム、道路交通法との関係、事故防止の手法及び事故動画からの事故防止に関するプレゼンテーション方法について学んだ。</p> <p>② 毎月部署単位で行われる安全会議に合わせて時節柄に合ったテーマを決め、それに見合ったドライブレコーダーのヒヤリ・ハット映像や事故映像を準備して KYT を実施した。</p> <p>③ KYT を社内トレーナーが実施した。伝え方や映像の解説について検証をして資料の改良等を実施した。</p> <p>④ 上記①の社内事故防止トレーナー養成講座を修了した5名のうち、3名がその後プロ事故防止トレーナー養成講座を受講、2年かけて修了し、国土交通省が定める指導監督12項目に合わせて、社内の事故防止ルール(運点ルール)決めを実施。また、それに合わせてドライブレコーダー映像を組み合わせ、社内教材を作成し、教育に活用した。</p>



(社内教材資料の一部)



(社内教材資料の一部)

置田運輸 運転ルール 左折時の安全確認

交差点30m手前

- ・後方からのバイク
- ・歩道上の自転車や歩行者

交差点手前

- ・後方からのバイク ・歩道上の自転車や歩行者
- ・前方の自転車や歩行者 ・対向車 ・右ミラー

横断歩道手前

- ・横断歩道上の歩行者や自転車
- ・横断歩道手前の自転車や歩行者

⑤ 今後、更に取り組を推進するため、過去に社内発生した事故を題材とした新たな教材作りと社内ルールの策定を進める予定です。

取組の効果

- ① 静止写真でのKYTと違い実際の事故映像をKYTに活用していることで、KYTに取り組むドライバーの姿勢がこれまで以上に真剣となり、事故を自分事に置き換えて話すなど、安全意識への向上が見られるようになった。
- ② 取組の効果により以下のとおり事故発生件数が減少した。
- ・2019年度（第45期）事故発生件数（製品事故除く）16件
 - ・2020年度（第46期）事故発生件数（製品事故除く）18件
 - ・2021年度（第47期）事故発生件数（製品事故除く）9件
- ※ 当社の事故の定義は、過失が有る事故としている。

事業者名

置田運輸株式会社 輸送営業部 佐々木
045-663-2667